

プレス発表資料

平成25年5月21日

独立行政法人 防災科学技術研究所

流山市役所とオープンデータを活用した 災害に強い地域づくり事業を開始

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、流山市役所と平成25年4月1日に共同研究協定を締結し、その一環として、市内の自治会等を対象としたオープンデータを活用した災害に強い地域づくり事業を開始します。

この事業では、当研究所が開発しているeコミュニティ・プラットフォームを活用し、参加者は流山市役所が公開するオープンデータを地図上で参照しながら、e防災マップや防災ラジオドラマの作成手法を実践します。

そのスタートとして、平成25年5月25日（土）に流山市リサイクルプラザ・プラザ館において、市内の自治会等を対象に第1回ワークショップを共同で開催します。

1. 内容：別紙資料による。
2. 本件配布先：文部科学記者会，科学記者会，筑波研究学園都市記者会
（流山市分：松戸記者クラブ）

【内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
災害リスク研究ユニット
臼田、須永、田口
電話：029-863-7546

【連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所
アウトリーチグループ
三好、大石
電話：029-863-7768
FAX：029-851-1622

“実践可能な地域防災”の全国モデルケースに — 自治体のオープンデータを活用した 災害に強い地域づくり事業をスタート —

流山市役所
独立行政法人 防災科学技術研究所

流山市役所と独立行政法人防災科学技術研究所は、平成25年4月1日に締結した共同研究（補足資料1）の取り組みの一環として、市内の自治会等を対象としたオープンデータ（補足資料2）を活用した災害に強い地域づくり事業を開始しました。

オープンデータは全国各地で活用が検討されていますが、本事業は情報を公開するだけでなく、地域防災へ利活用するための情報システムや情報公開方式、手法開発を含めた実践的な研究を実施する、全国的にみてもほとんど例が無い取り組みです。

本事業では、市民自らが災害時に地域で対応に迫られる点などを整理して対応策を検討し、実際に対応できる防災体制を地域に構築することを目指しています。具体的には、防災科学技術研究所が開発している、インターネットを活用した防災マップを作成できるウェブアプリケーションである「eコミュニティ・プラットフォーム」（補足資料3）を活用し、流山市がオープンデータとして公開するハザードマップ等の情報をeコミマップ上に可視化します。さらには、防災科学技術研究所が提唱している災害対応や防災体制、防災資源等を空間的にとらえるためのe防災マップや、災害時に想定される問題と対策を時系列でドラマに仕立てあげる防災ラジオドラマの作成手法を学び、実践することで、自治会、地域企業・団体、学校、福祉施設など、地域のさまざまな関係者が協働して地域防災活動を継続的に実施することができます。

そのスタートとして、平成25年5月25日（土）に流山市リサイクルプラザ・プラザ館において、市内の自治会等を対象に、第1回ワークショップを共同で開催します。開催概要は以下のとおりです。

<開催概要>

開催日時：平成25年5月25日（土曜日）午前10時～12時

場所：リサイクルプラザ・プラザ館2階 研修室

（流山市下花輪191番地 流山市クリーンセンター）

参加予定団体数：流山市内の29団体（5月10日現在）

主催：流山市役所、防災科学技術研究所

<実施内容>

- ・ 防災科学技術研究所が研究開発を行っている災害に強い地域づくりのための手法およびその手順を紹介。
- ・ eコミュニティ・プラットフォームのデモンストレーションと防災マップ作成に関する各地の実践例を紹介。
- ・ eコミュニティ・プラットフォームの利用体験会を実施。

<ワークショップ参加者に対する期待できる効果>

- ・ 災害に強い地域づくりのための手法や実例について習得することが可能。
- ・ eコミュニティ・プラットフォームの活用方法を習得することが可能。

<今後の取組>

第2回ワークショップ以降は、各参加者が取り組みたい防災上の問題の設定と、問題の解決に向けた防災体制づくりにつなげる取り組みを実施する予定です。

流山市役所と防災科学技術研究所との共同研究協定について

流山市役所
独立行政法人 防災科学技術研究所

流山市役所と防災科学技術研究所は、共同研究「流山市における災害リスク情報のオープンデータ化とその利活用に関する実践的研究」を平成25年4月1日より開始しました（期間は3年間）。流山市役所の持つ災害リスクに関する情報をオープンデータ化し、そのデータを地域防災活動や災害対応業務に活用するための研究として、下記3点を実施します。

（1）行政情報オープンデータ化に関する実証実験

流山市が公開しているハザードマップをはじめとした各種情報を、地図データのオープンデータとして公開する実証実験を実施します。防災科学技術研究所が開発しているeコミュニティ・プラットフォームを活用して地図データのAPIとしてのオープンデータ化を行い、（2）及び（3）のシステムと相互に連携するための実証実験を実施します。

（2）地域防災活動実践手法に関する実証実験

自治会、自主防災組織、避難所運営組織などが、市や事業者、NPO等と協働して災害対応を行うための平時からの体制づくりと、防災活動や応急活動を実施できるための実証実験として、防災科学技術研究所が開発中のeコミュニティ・プラットフォームや地域防災キットを活用した実証実験を行います。あわせて、地域防災活動を展開・支援するためのNPO等の中間支援団体の養成手法の研究を実施します。

（3）自治体災害対応業務支援に関する実証実験

国、県、近隣市、指定公共機関などの防災関係機関との情報共有および災害情報一元化を図り、警戒期から復旧期にかけての自治体の災害対応業務の高度化を行うための研究を共同で実施し、実証実験等をあわせて実施します。

内閣府総合科学技術会議の主導による「社会システム改革と研究開発の一体的推進（旧科学技術戦略推進費）」に位置付けられた「官民協働危機管理クラウドシステム（中核機関：防災科学技術研究所）」の一環として実施します。

全国各地でオープンデータの取り組みがはじまっており、流山市役所でも「オープンデータトライアル (<http://www.city.nagareyama.chiba.jp/10763/>)」として実施していますが、オープンデータの具体的な利活用の事例として、地域防災や災害対応等に着目した取り組みは全国的にもほとんど例がありません。そのため、本研究で得られる成果は、自治体のオープンデータ化とその利活用のモデルケースとして、全国的な普及・展開へ繋がるものと期待されます。

オープンデータについて

流山市役所

行政機関等が収集・保有・管理しているデータを、機械判読可能かつ二次利用可能な形式でインターネット等に一般に公開すること、あるいは公開されたデータそのものを指しています。国の IT 戦略本部では、昨年「電子行政オープンデータ戦略」を策定し、行政情報のオープンデータ化がはじまっています。

流山市では市議会「議会オープンデータトライアル」を開始しているのをはじめ、市役所では「流山市オープンデータトライアル (<http://www.city.nagareyama.chiba.jp/10763/>)」を開始しています。流山市オープンデータトライアルでは下記のカテゴリで CSV 形式によりデータが公開されています。

流山市オープンデータトライアルにおけるカテゴリ

防災・安心安全	観光・歴史・文化・スポーツ・生涯学習
地域・コミュニティ	交通・道路・河川
保健・福祉	消防・水道
子育て・教育	統計・その他
勤労・商業・工業・農業	
環境・ごみ・リサイクル	



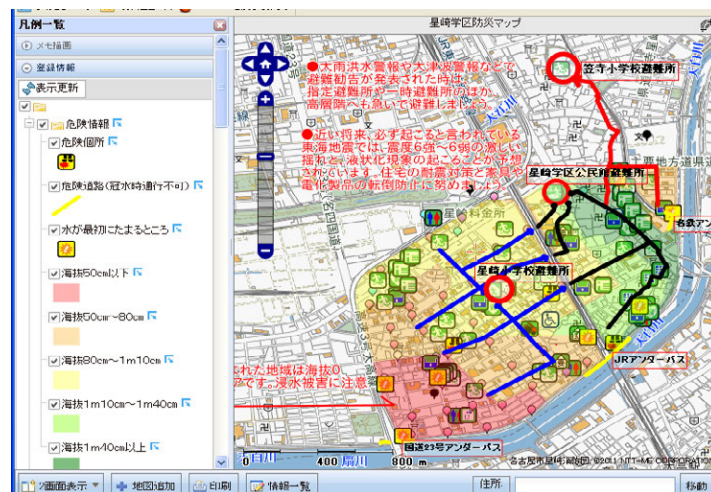
流山市オープンデータトライアルのウェブページ（市役所ホームページ内）

e コミュニティ・プラットフォームについて

独立行政法人 防災科学技術研究所

インターネットを活用した防災マップを作成するウェブアプリケーションで、独立行政法人防災科学技術研究所が平成20年度より開発を行っています。ホームページ作成や情報発信・共有が容易に行えるグループウェア「eコミグループウェア」と、地図作成システム「eコミマップ」で構成されています。特にeコミマップは、国際標準の地図データのオープンデータの方式（分散相互運用環境）に対応しており、インターネット上にあるオープンデータとして公開された様々な地図データを一つの画面に重ねて表示することができ、それらの地図を下敷きにマウスクリックで簡単に自分達の情報を登録した上で、それを印刷して話し合い等への活用も容易に行える機能を備えています。

防災科学技術研究所では、平成22年度より防災コンテストを開催（後援：内閣府、文部科学省）しており、これらのシステムを活用したe防災マップおよび防災ラジオドラマの作成手法の全国展開および社会還元を行っています。コンテストにおけるeコミマップの利用事例として、第2回防災コンテスト（e防災マップコンテスト）の最優秀賞（愛知県名古屋市南区の星崎学区連絡協議会）を紹介します。こちらのマップは、台風や津波による水害リスクを自治体のハザードマップを表示させて災害特性を理解し、地域の避難施設までの推奨ルートを設定するとともに、高い建物への避難を推奨するなど、実践的な対策マップを作成しています。防災コンテストの詳細は公式サイト（<http://bosai-contest.jp>）をご覧ください。



応募された e 防災マップ（星崎学区防災マップ）



e 防災マップの作成の様子（星崎学区連絡協議会提供）